

これまでの暮らしをふりかえってみよう

かつて、人類は暮らしに必要なすべてのモノを、地上にある自然のめぐみから受け取っていました。しかし、工業化の発展により、地下にある化石燃料や様々な資源がたくさん使われるようになりました。そして、いつからか身のまわりを快適にするために、自分に都合よく資源を消費し、自然にあまり配慮せずに土地を開発するようになりました。

このまま、身のまわりの自然から目をそらして、何も考えずに資源を使い続けられれば、自然のめぐみは失われ、いつかは世界中の資源を使い果たし、今のように豊かな暮らしができなくなってしまいます。

それでは、自然のめぐみを回復し、資源を使い果たすことなく、いつまでも豊かに暮らす方法はあるのでしょうか？

この問題を解決するヒントは、「持続可能」という言葉と「環境・経済・社会の問題はつながっている」ということにあります。

コラム 「持続可能である」とは？

「持続可能である」とは、今の地球環境が保たれて、未来まで続くということです。すなわち、現在のわたしたちだけでなく未来の人たちも豊かに暮らすことができる状態である、ということです。現在、人間の活動によって地球の回復力を大幅に上回る影響を地球環境にあたえていると言われていています。わたしたちの子どもや孫も豊かに暮らすためには、地球環境を守り、受け継いでいく必要があります。

持続可能な一人ひとりの行動

流しそうめんを例えると…

